

【幌延町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

グローバル化や情報通信技術の一層の進展により、人工知能、ビッグデータなどの先端技術が高度化して、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方が急激に変化する時代が到来しつつある中、義務教育において誰一人取り残さないという基本的な考え方のもと、全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められている。

ICTの活用は手段であり目的ではないということを念頭に、ICT端末を文房具と同様の道具として活用することで、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質や能力を育成していく。

2. GIGA第1期の総括

本町においては、平成28年度に概ね1人1台のWindowsOSタブレットを整備し、GIGA第1期の端末整備以前より、町内学校における端末活用の推進を行ってきたこともあり、GIGA第1期でChromeOS端末導入時は、各学校により円滑に活用推進に係る取組が進められた。

令和6年度まで、コロナ渦における活用や遠隔授業での活用等、町内学校の教職員が積極的に授業及び校務での活用を試行し、その活用事例について、町情報教育センター等を通して普及することで、町内学校及び教育委員会が、それぞれの推進状況を把握した上で、自校の実態に合わせた端末及びデジタルツールの活用が推進されている。

取組が推進される中で、明らかとなった課題等については、隨時、学校と教育委員会が連携して解消の方策を講じているが、ネットワーク整備計画や校務DX計画で示す内容等について、今後対処していく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末を効果的に活用するために、授業支援ツールやAIドリル等のデジタルコンテンツを学校現場の実態に応じて整備と更改を行ってきた。今後は、令和10年の義務教育学校開校も見据えて、小・中学校の系統的な教育活動を効果的かつ円滑に行う環境整備と活用計画が必要となるため、町内学校と教育委員会が一層の連携を図っていく。

個別最適・協働的な学びの充実はもとより、地域性を考慮した遠隔授業における端末活用等、学校現場の協力と教育委員会の支援により、端末活用が有効なあらゆる場面で活用を推進していく。